

モリリフォームだより

Vol 97 2026 4月

心に残ったエピソード モリ・リフォームの 住人十色

《《閉ざす塀から、楽しむ庭へ》》



リフォーム前

ご主人のお父様の時代に建てられた
コンクリート製の丈夫な厚みのある塀。
洗いだし加工や、凹凸があり重厚な
手間のかかった立派な塀。
その分、リビングからの
景色は閉塞感が。年数を重ねるごとに、
ヒビや汚れも目立っていて・・・

人の通りも多いので、外部からの視線は
遮りたいところですが、リビングからの景色はもう少し開放感も欲し
いと思われ、エクステリアのリフォームに踏み切られたのでした。



リフォーム後

コンクリートの足元は残し、倒れたら恐ろしい上部の塀はカット
撤去しました。

そして、残った洗い出し左官の朽ちたところは撤去、
左官を施し、塗装を。その上に木目のフェンスを施工しました。
このフェンスとても素敵なんです。
横格子の幅を合わせた、隙のあるフェンスと、目隠しのフェンス
を組み合わせ、目線が気になるところは、隙の無いクロスな
デザイン。でも、風は抜けるようになっており、
背の高いフェンスだからこそ、
強風の際のことも考えての施工
となりました。

一緒に、昔から、
ブロックのみだった裏側も、
フェンスを施しました。
建物に額縁が付いたことにより、
より一層、建物が引き立ちます。

実は表札がなかったお客様宅。
築25年にして表札のついた
機能門柱を新設されました。
ナチュラルなイメージに変身した
エクステリア。
奥様の素敵な寄せ植えも彩を添えます。
リビングから望める
開放的になった庭で、
ご家族の楽しみが増えました。



リフォーム前



スタッフコラム



大震災で「倒壊する可能性のある家」と「倒壊しない家」の違いと地震対策

1995年の阪神・淡路大震災や2011年の東日本大震災では、同じ地域
でも「倒壊した家」と「大きな被害を免れた家」がありました。その違いは
地震への備えができていたかどうかにあります。

まず大きな差となるのが「耐震性能」です。1981年以前の旧耐震基準で
建てられた住宅は、震度6強～7クラスの揺れを想定していないため、倒
壊リスクが高い傾向があります。

一方、現行基準に適合し、耐力壁がバランスよく配置された家は揺れに
強い構造です。

壁量の不足や偏り、1階部分が駐車場になっているピロティ構造などは
倒壊要因になりやすいです。

次に重要なのが「基礎と接合部」

無筋コンクリート基礎や、柱と土台を固定する金物が不足している住宅
は、強い揺れで外れやすくなります。

鉄筋入り基礎やホールダウン金物でしっかり緊結された家は、倒壊リス
クを大きく下げられます。

さらに、建物の劣化も見逃せません。シロアリ被害
や雨漏りによる木材腐朽は、構造強度を著しく低下
させます。定期点検と早めの補修が重要です。



対策としては、まず耐震診断で現状を把握し、耐力壁の追加、基礎補強、
接合金物の設置などの耐震改修を行うこと。

加えて家具固定など室内対策も実施しましょう。大震災時に命を守るのは
日頃の備えです。住まいの弱点を知り、確実な対策を講じることが、倒壊し
ない家づくりへの第一歩となります。

お電話・公式LINEにて
予約受付中

イベント情報

Renovation house 葉

4月5月 葉のこならひ

蔵レンタルスペース

おひりえ
久遠



4/14 ドライフラワーで空間作り

4/24・25 ミニチュア展

4/20 自力整体

5/9 水引 母の日ラッピング

5/15・16 ワイヤークラフト

チラシハガキ同封

5/26 クリスタルネックレス作り

5/21・22・23 ヒーリング整体

SNSで
もっと
モリリフォーム
を身近に！



Instagram
mori.reform



モリリフォーム
MORI REFORM

ホームページ



モリリフォーム

神奈川県福崎町福崎新318-1
0120-76-1146
http://www.mori-reform.jp



ホームページ



↑QRコードから
葉へアクセスできます。
info@mori-reform.jp



ライン: 358dincf